

# 補正予算の審議から

Q & A  
[抜粋]

**合併して10か月  
職員給与の格差是正は？**

**質問** 奥州市が誕生して10か月を過ぎておりますが、さまざまな分野で、差異のない取組みが望まれます。中でも職員の給料の格差の是正についてどのように考えられ、対応されているか伺います。

**答弁** 給料表を統一し、モデルラインを設定して10月1日から一部実施しています。約1500人の職員の給与体系を整えることは難しく、4年間を目途に取り組むことを組合と協議、合意しています。

職階制度についてはまだ合意にいたってはいませんが、基本的には職務職階だと考えています。

**中小河川の汚染の実態は？  
小規模排水路の整備は？**

**質問** 中小河川の汚染の実態についてどのように把握していますか。

また、小規模用排水路の整備などにどのように取り組まれるのか伺います。

**答弁** 個別には各総合支所であ

る程度把握しております。市としては、各区で継続的に水質調査をしてきた地点を、本庁対応で調査しております。

小規模排水路の整備については関係機関との連携のもとに順次進めています。とくに19年度からは農地、水、環境保全対策事業が始まることからある程度の整備が進むものと思っています。

**新エネルギーの開発について  
米のエタノール化**

**質問** 胆沢区において地域エネルギー自給の立場から米のエタノール化について、過去何年かにわたり取り組んでいるようですが、現在の状況と今後の見通しについて伺います。

**答弁** 特に米のエタノール化をテーマにして3年目になります。これまでは理論的可能性について調査して来ましたが、今年度は、東京農大から実験設備を胆沢区に搬入し、工業用エタノールの試験製造免許を取得し、製造試験を行っています。今後は原価計算を行うなどして取り組んで行きたいと思っています。

## 発議 意見書

3件の意見書を可決

◆後期高齢者医療制度の充実を求める意見書（抜粋）

いつでもだれでも平等に医療が受けられ、地域による医療の格差を生じさせないことや、低所得者に対する減免、運営の透明性の確保、速やかな情報公開、市町村の負担の軽減を求める。

◆道路特定財源の確保に関する意見書（抜粋）

地方における道路整備の重要性を深く認識し、国民生活の向上、災害時における緊急輸送など全ての社会活動に不可欠で最も基本的な社会資本である道路の整備を推進するため、必要な予算を確保するように求める。

◆奥州市行政組織の改善を求める意見書（全文掲載）

行政組織を市民にとって、もっとわかりやすく利用しやすいものとし、市民要望に的確に対応できる機構とするよう改善を求める。

## 奥州市行政組織の改善を求める意見書

市町村合併により平成18年2月20日に奥州市が誕生して、10か月が経過した。

この間、市当局においては、合併協議会における協議、首長協議、事務協議等に基づいて定めた制度、施策、体制等により、新市建設計画の実現と一体感の醸成を念頭に、行政運営に努めており、市議会としても、会期中はもとより会期外においても、常任委員会や市政調査会の活動の一環として各区における調査を行い、議員の共通認識を深めているところである。

岩手県の副県都を目指し、まさに車の両輪が回り出した感があるが、同時に、様々な問題も出てきており、その中の一つとして行政組織の問題が挙げられる。現在の組織は、必ずしも市民にとって分りやすく利用しやすいものとは言えず、また、市民要望や行政課題に迅速に対応できるとは言い難い状況であると指摘せざるを得ない。

合併協議会における協議、首長協議等の内容について、合併新市は履行していく責務があるが、履行した結果、不適切な部分が明確になったものについては、速やかに改めるべきであり、そのことが新市、奥州市民に対する義務でもある。

よって、市当局においては、現在、奥州市行政組織事務改善委員会を立上げ、職員提案や研究部会の検討を踏まえながら協議を重ねているところであるが、行政組織で現状を了としない部分については、英断をもって対処され、行政組織を真に市民に分りやすく、利用しやすいものとし、市民要望に的確に対応できる機構とされるよう要望する。